



2025 年 12 月 23 日

各 位

会 社 名 伊 澤 タ オ ル 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 伊 澤 正 司
(コード番号：365A 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取 締 役 CFO 兼 管 理 本 部 長 三 好 拓 人
TEL. 06-6690-1338

「タオル研究所」が全国の小売店販売に向け始動！

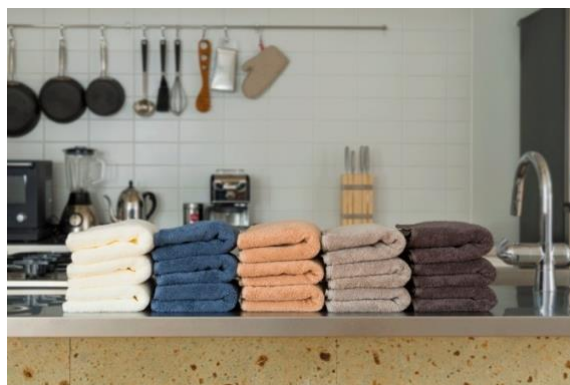
消費者および小売店からの圧倒的ニーズに応え、ついにオフライン販売解禁！

伊澤タオル株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：伊澤 正司）は、タオルのオンライン販売において**圧倒的な実績を持つ、タオル売上 No.1 ブランド¹**である「タオル研究所」を、全国の小売店に対して、販売を開始いたします。

これまで「Amazon.co.jp 限定」として育んできた同ブランドですが、実店舗での購入を望む一般消費者からの声と、タオル売上 No.1 ブランド¹を取り扱いたい全国の小売店からのご要望に応える形で、満を持して**オフライン販売を解禁**する運びとなりました。これにより導入小売店にて 2026 年 1 月より順次購入が可能となります。

すでに 2025 年 12 月上旬より既存取引のある小売店などへ「タオル研究所」のオフライン展開のご提案をしており、その多くの商談時に導入を決めていただいています。

今後はオンラインだけではなくオフラインでも「タオル研究所」をより多くの方へお届けしてまいります。



■「タオル研究所」とは

タオルはどれも同じ。「タオル研究所」はこの常識を覆します。

2019年に日本の「Amazon.co.jp 限定」で創った同ブランドは、当社の持つ圧倒的な強みである

「常識破りの品質と価格」を武器に、約5年で急成長を遂げました。

タオルのオンライン販売におけるレビュー数・販売数ともに圧倒的な実績を積み上げたことで、今では日本中の多くの方にご愛用いただいている生活の定番品になっています。

また当社は2025年8月にアメリカ市場（米国のAmazon.com）への進出も果たしました。当社独自のブランド戦略として米国のシェア拡大を推進しています。

数字で見る「タオル研究所」

ブランド認知率

35% 以上 !!²

累計販売枚数

3,000 万枚突破 !!³

Amazon
ホーム & キッチン
カテゴリ

3 年連続売上 No.1⁴

■オフライン展開 解禁の裏側

「タオル研究所」は自家需要のタオルとしては日本でトップクラスの知名度があり、Amazon.co.jpで最も売れているタオルブランド¹となります。

当社は、タオル事業で約100億円規模の売上を生み出してきた実績と経験に基づき、価格の優位性と常識破りの品質を両立した製品を安定的に供給し続けています。こうした取り組みが一般消費者から高く評価され、指名買いが比較的少ないとされるタオル業界において、高いリピート率を実現しています。

そして、タオル研究所では複数種類の製品展開を行っていることもあり、**「実際に触って選びたい」**

「1枚から試してみたい」「家族で使うので色を分けたい」など、前向きな要望が多数寄せられています。

また、小売店からも「なんとかタオル研究所を取り扱えないか？」といった嬉しい声を多く頂戴してきました。2025 年 6月20日に日本のタオル会社として初めて株式上場を果たしたことを契機に、同ブランドのオフライン展開を決断しました。

2025 年 12月上旬より既存取引のある小売店などへ順次提案を行っています。大変嬉しいことに、その多くの商談時に「タオル研究所」の導入を決めていただいています。各取引先での販売開始は、2026 年 1月以降となる予定です。

「タオル研究所」のオフライン展開を起点にさらなるシェア拡大を目指し、**「売上規模の拡大と収益性向上」**につなげる中長期的な成長戦略として本施策を推進してまいります。

本件プロジェクトによる当期業績への影響は軽微である見込みですが、来期以降においては、売上と利益の増加に寄与する可能性があります。なお、具体的な数値への影響につきましては、今後の進捗状況を踏まえて精査の上、必要に応じて速やかに開示いたします。



- 1 Amazon.co.jp におけるタオル製品の販売実績に基づく。当社調べ。（期間：2024 年 12 月 16 日～2025 年 12 月 15 日時点）
- 2 全国の 12～49 歳の男女 10,000 人を対象としたインターネットアンケート調査に基づく認知率。マクロミル調べ。（期間：2024 年 6 月）
- 3 当社調べ。（2025 年 12 月 12 日時点）
- 4 365 日の過半数以上の期間で 1 位を観測。当社調べ。（期間：2022 年 12 月 13 日～2025 年 12 月 12 日）